広報
6月号
東京都製紙原料協同組合

発 行 所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東３－16－１
TEL（3831）7980
発行人　近藤　勝
編　集　広報部

第　56　回　通　常　総　会

〈 主　な　内　容 〉

時の視点
第５６回通常総会開催　2～3
理事長挨拶　理事長　近藤　勝　3～4
第５０回永年勤続従業員表彰式　5～8
第５０回永年勤続表彰理事長挨拶　8
祝賀懇親会　10～11
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会　12～15
東京紙器工業組合および　15～17
東京都紙器工業協同組合との懇談会
第５６回清風会ゴルフコンペ　17～18
清風会幹事　廣田圭吾
青年部総会開催　青年部幹事長　梨本竜範　18
製本工組の製本二世連合会 30 周年　18
記念パーティー　青年部幹事長　梨本竜範
支部便り
第１回支部長訪問「山手支部訪問」　18～19
城北支部長　辻　忠敏
支部総会開催
台東支部　台東支部　坂田雄司　19
荒川支部　荒川支部長　藤井康夫　19～20
城北支部　城北支部長　辻　忠敏　20
城南支部　城南支部長　坂田　智　20～21
千代田支部　千代田支部長　近藤正彦　21
山手支部　山手支部庶務　徳永裕司　21
文京支部　文京支部　清水弘允　21～22
江墨支部　江墨支部幹事長　木内茂樹　22
〔組合員紹介〕　中央支部　巽　和義　22
支部スケジュール　23
お知らせ　24～25
「7月会議・催事予定」「古紙価格」
「代表者変更及び住所変更」「組合員脱退」「訃報」
会議概要〔３月・４月・５月〕　25～35
編集後記　広報部長　清水弘允　35
広　　告　36

時の視点

東京都製紙原料協同組合

第５６回　通常総会　開催

日　時　：　５月２１日（月）午後４時～
会　場　：　上野精養軒　３階「桜の間」
司　　会　　赤染　常任理事
開会の辞　　松井　副理事長
議　　長　　清水　副理事長
閉会の辞　　宮崎　常任理事

去る５月２１日（月）、東京都製紙原料協同組合第５６回通常総会及び第５０回永年勤続従業員表彰式が開催されました。
当日は総会にはふさわしい良い天候となりました。会場は、木立も一層緑色を増した上野公園内精養軒で行われ、多数のご来賓、業界新聞社の方々がご出席くださいました。

昨年の東日本大震災は、地震、津波の発生だけでなく原子力発電所の事故による電力不足、放射能問題を引き起こし国民生活に多大な影響を与えました。それは消費動向の変化となり、日本経済全般に大きな変化を起こしました。

製紙会社も例外ではなく、被災した製紙会社は一時生産中止に追い込まれ、生活必需品の家庭紙は仮需が発生し輸入紙増加の要因となりました。

また、製紙産業だけでなく印刷、出版などすべての紙を取り巻く産業に甚大な打撃を与えました。製本業界、印刷業界が縮小している中、産業古紙の発生はますます減少しています。本来なら供給が減少すれば価格は上昇するところですが、オフィス古紙が古紙供給源として一定のシェアーを占めたうえ、家庭紙を中心に輸入品に押されて製品価格が弱含みなので、産業古紙の価格も弱含みであります。

従来は国内完結型の製紙業界・古紙業界でありましたが、現状は紙・板紙製品・古紙ともに国際市場と密接につながっています。従って海外市場の動向に敏感でなければなりません。組合としても関連業界との情報・意見交換がますます重要に

暑　中　御　見　舞

なってきます。

今年度も家庭紙メーカー、製本業界、印刷業界、紙器業界及びリサイクル業界と、定期的に交流を持ち、海外研修も行っていく方針です。また組合員及び支部相互の交流、啓発活動を、適宜、本部事業として行ってまいります。

理事長挨拶

東京都製紙原料協同組合

理事長　近藤　　勝

本日は第５６回の通常総会に大変お忙しい中、大勢の組合員の皆様にご出席を頂き有り難うございます。大変残念な事に前皆川理事長が去る４月２９日にご逝去されました。ご本人の遺志により初七日までは伏せておられ、私共が連絡を受けたのはその後の事でした。社葬は行われないとお聞きし、急遽、私共組合としては、改めて７月２２日に「偲ぶ会」を開催する事と致しました。後日、組合員、業界の皆様方にはご案内致しますので、その時には宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年の大震災から一年と数ヶ月が経過し、混迷を深めた日本経済も復旧、復興が進んでおりますが、原子力発電の是非が問われ電力の値上げに繋がって参りました。又、ヨーロッパ発の世界不況も昨年は予告編、今年が本番と言われているように解決の糸口も見つかりません。円高も進行し、今や日本の紙の消費の一割が輸入紙となりメーカーも余儀なく減産を実施しているところであります。

そのような中、古紙業界も印刷、製本業界の苦境と共に大変厳しい状況が依然として続いております。本年度は組合員数200社と昨年より11社減少のスタートとなりました。このままでは更に減少が見込まれる事から現在、活性化の為にお互いの支部訪問等が始まっておりますが、今、組合に何が求められているのか、組合員にとってどのようなメリットがあるのか、もう一度原点に帰って見直す時期に来ているのではないかと思います。本日の総会ではそういった意味でも事業計画が重要になってきます。充分なご審議をお願いしたいと思います。

業界を取り巻く環境は、厳しい需給問題だけで

暑　中　御　見　舞

なく抜き取り問題や品質問題が依然として解決しておりません。これからも古紙センター、全原連とのつながりを密にしながら、業界の信頼・安定の為に努めて参りたいと思いますので、ご協力を頂きます様、宜しくお願い申し上げましてご挨拶とさせて頂きます。

議案審議

〔組合員総数２００名中　本人出席４８名、委任状提出者７１名、議決権有総数１１９名〕

第１号議案　平成２３年度事業報告書承認の件
（坂田　事業部部長）

第２号議案　平成２３年度財産目録、貸借対照および損益計算書承認の件
(高橋　会計理事)

第３号議案　平成２３年度剰余金処分案承認の件
（高橋　会計理事）

監査　報告　（朝倉　監事）

第４号議案　平成２４年度事業計画案決定の件
（坂田　事業部部長）

第５合議案　平成２４年度における収支予算ならびに経費の賦課及び徴収方法決定の件（坂内　会計理事）

第６号議案　平成２４年度における借入金額の最高限度額決定の件(坂内　会計理事)

第７号議案　平成２４年度における加入手数料額決定の件（坂内　会計理事）

第８号議案　役員報酬の件
（清水　議長より）

以上、第１号議案から第８号議案はすべて原案通り可決されました。

松井　副理事長

暑　中　御　見　舞

議長・清水　副理事長

宮崎　常任理事

最後は宮崎常任理事が閉会の挨拶をされて通常総会は滞りなく終了致しました。

第５０回　永年勤続従業員表彰式

午後５時～

通常総会終了後、引続き行われた従業員表彰式には多数のご来賓の方々がご参加くださいました。

開会の挨拶を高山総務部長がされたあと、上田常任理事の司会で本日、表彰式に出席された被表彰従業員７名の方々に、近藤理事長から表彰状と記念品が贈呈されました。

司　　会　　上田　常任理事
開会の辞　　高山　総務部長
閉会の辞　　小森　常任理事

ご来賓（出席者）

□　衆議院議員
　　田中　美絵子　様
□　都議会自民党特別顧問
　　髙島　直樹　様
□　経済産業省 製造産業局
　　紙業服飾品課　課長
　　坂本　敏幸　様
□　経済産業省 製造産業局
　　紙業服飾品課紙パルプ担当　課長補佐
　　舩橋 善啓　様

暑　中　御　見　舞

□ 経済産業省 製造産業局
紙業服飾品課　古紙係　係長
末永　英久 様

□ 東京都産業労働局商工部
経営支援課　課長
山田　利朗　様

□ 東京都産業労働局商工部
経営支援課 サービス情報担当　係長
人見　志のぶ　様

□ 東京都中小企業団体中央会
支援課　課長
野口　聖記　様

□ 公益財団法人 古紙再生促進センター
専務理事
木村　重則　様

□ 株式会社 商工組合中央金庫上野支店 次長
矢田　勝啓　様

□ 全国製紙原料商工組合連合会　専務理事
富所　富男　様

□ 関東製紙原料直納商工組合　理事長
大久保　信隆　様

□ 社団法人 東京都リサイクル事業協会　会長
上田　雄健　様

□ 東京都資源回収事業協同組合　理事長
吉浦　高志　様

□ 東京都製本工業組合　理事長
星野　一男　様

□ 東京都印刷工業組合　専務理事
生井　義三　様

□ 東京返本加工協同組合　副理事長
斎藤　米蔵　様

□ 東京返本加工協同組合　専務理事
稲生　正俊　様

□ 東京返本加工協同組合　所長
羽山　　真　様

□ 東京都製紙原料協同組合　顧問
冨澤　一郎　様

□ 東京都製紙原料協同組合　相談役
坂田　秀一郎　様

□ 大同生命保険株式会社 上野支社　課長
井上　貴裕　様

□ あいおいニッセイ同和損害保険（株）
東京北支店大泉支社　支社長
山村　勉　様

□ あいおいニッセイ同和損害保険（株）
東京北支店大泉支社　課長
下方　英正　様

暑　中　御　見　舞

□　株式会社ウイル・プロモート　社長
　近藤　靖俊　様
□　株式会社ウイル・プロモート　部長
　宮内　亮一　様
□　杉山会計事務所　税理士
　杉山　靖彦　様

表彰従業員氏名

□　男性　◆　女性　（順不同、敬称略）

〔勤続２０年以上〕　1 名

□駒井　克久　［(株)　共益・商会］

〔勤続１５年以上〕　5 名

◆大塚　真由美　［三弘紙業 (株)］
□中島　純雄　［三弘紙業 (株)］
□庄野　八一郎　［三弘紙業 (株)］
□志慶眞　幸夫　［三弘紙業 (株)］
□竹内　慎也　［三弘紙業 (株)］

〔勤続１０年以上〕　1 名

□新井　進　［大洋紙原 (有)］

〔勤続５年以上〕　１５名

◆田中　博子　［グリーンロジテック（株)］
□新村　政宏　［グリーンロジテック（株)］
□福留　章友　［グリーンロジテック（株)］
□松山　一幸　［グリーンロジテック（株)］
◆福森　みどり　［グリーンロジテック（株)］
□石出　英明　［(株) 赤松商店］
□越智　正行　［美濃紙業（株)］
◆田中　美保子　［美濃紙業（株)］
□八熊　繁夫　［美濃紙業（株)］
□田村　哲夫　［美濃紙業（株)］
□高久　武　［美濃紙業（株)］
□中野　茂樹　［(株) 共益・商会］
□中山　利昭　［(株) 共益・商会］
□梅木　裕介　［(株) 共益・商会］
□大橋　宏之　［(株) 共益・商会］

以上 22 名（女性 4 名）

暑　中　御　見　舞

高山　総務部長

第５０回

永年勤続表彰　理事長挨拶

本日は第５０回永年勤続表彰式に大変お忙しい中、都議会自民党特別顧問高島直樹様を始め、経済産業省様、東京都産業労働局様、そして大勢のご来賓の皆様にご出席を賜りまして誠に有難う御座います。又、今年度永年勤続表彰される２２名の皆さん、本日は誠におめでとう御座います。伝統的に続いている表彰式も今年は第５０回になりました。

５０年前というと、ちょうど東京オリンピック開催前の新幹線や首都高速道路の建設に沸いていた時代で古紙の回収量は統計の記録がありませんが、恐らく年間200万トン位ではないかと思います。まだ、コンベアーもフォークリフトもないトラックや貨車への積み込みも全て手作業の時代であったと記憶しております。

今では回収量も１０倍近くになっており、様々な面で近代化が進んでおります。当時に比較すれば確かに機械化は進んでおりますが、品種別の仕分けや禁忌品の除去、荷役作業等は機械には出来ない専門的な人間の技能が必要です。これから何年経とうと我々人間でなければ出来ない仕事です。本日表彰される皆さんは今までの経験、実績を高く会社から評価された方々ばかりです。これからも周りから信頼され慕われるような社員となって頑張って頂きたいと思います。永年勤続表彰はその過程であります。今後も常に勉強し、自分を研鑽する事を忘れず会社発展の為に貢献して下さい。

最後になりますが、私達の仕事はリサイクル社会を支える重要な仕事であり社会貢献の出来る仕事であります。本日表彰されます22名の皆さんの今後益々のご活躍と会社の発展を祈念いたしましてご挨拶とさせて頂きます。

暑　中　御　見　舞

来賓ご祝辞

□　都議会自民党特別顧問
　　髙島　直樹　様

□　経済産業省 製造産業局
　　紙業服飾品課　課長
　　坂本　敏幸　様

□　東京都産業労働局商工部
　　経営支援課　課長
　　山田　利朗　様

被表彰者を代表して　株式会社　共益・商会
駒井　克久様より謝辞をいただきました。

閉会の辞　小森　常任理事

暑　中　御　見　舞

祝賀懇親会

午後6時～

引き続き午後6時より3階桜の間で祝賀懇親会が行われました。

司会者の赤松常任理事の開宴の辞に続き、来賓を代表して衆議院議員　田中　美絵子様、公益財団法人 古紙再生促進センター専務理事　木村　重則 様、関東製紙原料直納商工組合　理事長　大久保　信隆　様のご祝辞をいただき、司会者より他のご来賓の紹介の後、社団法人　東京都リサイクル事業協会会長　上田　雄健 様に乾杯の音頭をとっていただき宴が開かれました。

賑やかな祝賀会も終わりが近づき、最後に、辻常任理事の中締め、閉宴の辞と三本締めで終了となりました。総会から出席頂いた組合員の皆様にはお疲れ様でした。また、全ての式典が無事終了しましたことを心より御礼申し上げます。

司　会　　赤松　常任理事
中締め　　辻　　常任理事

来賓ご祝辞

□　衆議院議員　　田中　美絵子　様

□　公益財団法人　古紙再生促進センター
専務理事　木村　重則 様

□　関東製紙原料直納商工組合　理事長
大久保信隆　様

暑　中　御　見　舞

乾杯のご発声

□　社団法人 東京都リサイクル事業協会 会長
　　上田　雄健　様

閉会の辞　辻　常任理事

トピックス

総会前に松原衆議院議員が駆け付けました！！

総会前の理事会に松原仁衆議院議員『国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）拉致問題担当』が駆け付けました。忙しい公務の帰り道で総会では、どうしても挨拶が出来ないとの事で、参加理事に激励の挨拶を頂戴しました。

暑　中　御　見　舞

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会

［平成 24 年 3 月 23 日（金）午後 2 時 00 分～］

於）富士工業技術支援センター

出席者：　静岡県紙業協会家庭紙部会 26 名
（内、家庭紙メーカー 20 名）
静岡県製紙原料商業組合 8 名
東京都製紙原料協同組合 14 名

三団体代表挨拶

イデシギョー（株）井出会長

［静岡県紙業協会家庭紙部会］

家庭紙は震災以降、円高の影響もあり輸入製品が増えた。輸入製品が前年比で増えており、輸入されたトイレットペーパーの消費の割合は多くなっております。家庭紙製品の価格修正を３月下旬に期待していたが苦戦しているようである。古紙原料に関しては２月中旬に価格調整があり落ちついてきたところである。現在は原油高による燃料の値上げや電気料金の値上げ等の問題をかかえている。

近藤理事長　［東京都製紙原料協同組合］

丁度、昨年の今頃は大震災の後で震災の様子が徐々に明らかになり、ガソリン不足、計画停電が始まり、衛生用紙もパニック状態になりつつある状況だったと思います。あれから一年、色々な事がありましたが、現在は円高基調の中、日本の紙・板紙の消費量の一割が輸入紙という大変な事態に入っており、恒常化しない事を願うばかりです。

そういった中で先日、１４日の日経新聞に「再生資源に下落圧力」という記事が載っておりました。これには先日開催された古紙センターの業務委員会で問題となりレンゴーさんも「そんな事は言っていない」、王子さんも「そのような取材は受けていない」と申しておりました。昨年の震災以降、古紙業界は経済産業省の指導の下、国内優先で納入してまいりました。

10 月以降、一部価格が国内と輸出が逆転してもメーカーさんは需給安定の為に在庫の積み増しをして頂きました。それが１２月末に膨らみまして、資料にあるように業者在庫も段ボールは 18,9%まで行きました。１月末も 19,4%と減少することなく逆に増えてしまいましたが、２月末には 14,0%と適正の 15%を割り込みました。

日経の記者は２月末の在庫量の集計が出る前に、

暑　中　御　見　舞

１月末の数字だけを見て記事を書いたという事だそうで、この記事につきましては実態と大きく離れているという事をご理解頂きたいと思います。電気、ガス、原油の大幅値上げに加え、中国製の安価な米まで輸入が始まっている大変厳しい時代ですが、我々需給両業界がお互い、この困難な状況を乗り切って行かれますよう、本日も情報交換等、宜しくお願い申し上げます。

佐野理事長　［静岡県製紙原料商業組合］

電気料金、原油の値上げによる影響で古紙の販売がかなりの減少をした。最近でも減少傾向である。３団体より古紙のデータを配付した。東京協組からは４４社による家庭紙向け及びＤＩＰ向けの古紙原料の在庫状況。関東商組からは過去１年間の裾物３品の入荷数、出荷数、在庫数。静岡商組からは１６社による裾物３品の入荷数、出荷数、在庫数。以上のデータをこの会議で初めて配付した。静岡商組では現在、家庭紙原料のデータを取っていないので今後、集計できるよう取り組んでいく。本日はこのデータを使用しながら実りある情報交換をしていきたい。

古紙全般の市況ついて

赤染直納部長　［東京都製紙原料協同組合］

本日は、お手元に静岡商組、関東商組、東京協組からの古紙データを配付した。今後はデータに基づきながら情報交換をしていきたいので、家庭紙部会からもデータの提出を希望する。

全般的な市況は、洋紙・板紙メーカーは生産調整をしている。１月～３月にかけ古紙注文量を数％カットしてきている。３月に入り古紙の発生が良くない。輸出は、昨年１０月に落ちてから、裾物３品が１月中旬（中国の旧正月）くらいから徐々に回復基調にある。３月に入り若干、弱含みとなってきている。日本の古紙はアメリカ物と比べると割高感がある。

家庭紙原料について

小林色上委員長　［東京都製紙原料協同組合］

印刷・製本業界の景気が悪く、その影響を受けている。発生が悪くなってきており、今後、産業古紙の発生は期待できない。

３月の問屋の古紙在庫は前月と比べランニングストックにプラスアルファの状況。いつもなら３月は発生時期だが、今年は例年のように発生は多く

暑　中　御　見　舞

ない。しかし、家庭紙メーカーの古紙在庫はタイト感がない。古紙問屋は国内の家庭紙メーカーへの納入を優先している。２月中旬に家庭紙原料の価格調整があり、マスコミ等でほとんど報道がされなかった。古紙の仕入先へは、古紙の価格調整について十分な説明が出来ず、価格がそのままになる所があった。良い古紙を提供するには選別費が必要である。選別費が出ない場合は内外格差を重視せざるを得ない。採算面で選別費のかからない輸出に廻ってしまい、安定供給は難しくなる。その点を家庭紙メーカーには良く考えてもらいたい。

オフィス系古紙について

高橋委員　［東京都製紙原料協同組合］

オフィス古紙の発生元は一般廃棄物、産廃等である。２２年度に業者の集めたゴミの量は９３万４千トンで２１年度に比べ４．３％減少している。ゴミの発生が少ないと古紙の発生量も少ない。リサイクル率が上がっているが量的にはかなり減少してきている。機密関係・シュレッダー関係とも減少しているのが現況である。

集荷関係より

宮崎集荷部長　［東京都製紙原料協同組合］

製本業界が非常に悪く印刷関係も悪くなってきている。集荷の間では、この時期に何故、家庭紙の古紙原料が価格調整をしたのか？仕入先に説明するのが難しく悩みのタネである。

静岡の状況について

［静岡県製紙原料商業組合］

発生状況は東京地区と異なり変化はない。静岡地区の家庭紙古紙の発生元は、下請け、孫請け業者が多い。古紙在庫は年末から繰り越してきた物が２月くらいまではあったが、現在はランニングストック状態である。３月は発生期なのでオフィス系、機密系が増えてくると期待したが増えた状況ではない。

家庭紙メーカーからの意見

［静岡県紙業協会家庭紙部会］

製品価格に関しては苦戦している。トイレット・ペーパー等の輸入製品が増えており、消費者は安ければ品質が多少落ちても安い方を購入してしまう。

暑　中　御　見　舞

家庭紙メーカーの現状

［静岡県紙業協会家庭紙部会］

古紙の入荷は順調に入っている。

製品の減産をしており３月までは古紙の入荷は順調だが４月に入りどうなるか心配である。

混入物等で品質問題が発生している。

古紙原料の在庫は潤沢にあるメーカーが多い。

質疑応答

Ｍ：メーカー　　Ｇ：原料問屋

Ｑ－Ｍ：中国の今後の動向はどうなるのか？

Ｇ－Ａ：先月、関東商組の主催で「５年後の古紙業界を考える」というシンポジウムがあった。その中でもあったように中国は５年後も日本の古紙を使わないとやっていけない。ヨーロッパやアメリカと比べると日本の古紙は品質が良く５年以内での心配はないと思われる。

Ｑ－Ｇ：今後の輸入製品の見込みは？

Ａ－Ｍ：今のところ大きくは変化がないと思われる。品質、その他の面で今後、購入者がどう判断していくか注目している。

Ｑ－Ｍ：放射能問題について現状は？

Ａ－Ｇ：震災直後、輸出品について中国の基準値が厳しく古紙は基準値以内で問題なかったが、輸出の際、コンテナに付着した数値が基準外で輸出できないケースがあった。現在は古紙やコンテナに付着した放射能数値は基準内でまったく問題ない。

東京紙器工業組合および東京都紙器工業協同組合との懇談会

平成24年3月26日（水）午後4時00分～

於）組合会議室

出席者：　東京紙器工業組合　4名

東京都紙器工業協同組合　5名

東京都製紙原料協同組合15名

三団体代表挨拶

近藤理事長　［東京都製紙原料協同組合］

挨拶の冒頭に当組合の創設から現在に至るまでの経緯を説明した。

日頃から古紙の発生先である業界の皆さまと交流を深める事により、業者間でスムーズな取引が出来るよう、又、問題発生時に即座に対応出来るよ

暑　中　御　見　舞

う取り組んでいきたいと思います。我々、関連業界がこの困難な時代をお互いに乗り切っていけますよう有意義な会議にしたいと思います。又、今後、定期的にこの会議を継続していきたいと思っております。

古山　理事長［東京紙器工業組合］

挨拶の冒頭で東京紙器工業組合が現在に至るまでの歴史を話された。

平成２３年度の事業基本計画では三つの柱があります。

一つ目は、「ハコの日」事業で展示会を企画。具体的には「表面加工の違いによる製品イメージを変える印刷紙器」、「四角に拘らない紙器」、「用紙の違いより表情を変える貼函」、「抜き・貼り技術を活かした加工品」などテーマ設定をした作品を募集し展示します。二つ目は、会議の開催方法。理事会は年に２回ほどだが、各支部の例会に出向き組合運営の実態に触れることで､運営の活性化、組合員の減少に歯止めをかけます。三つ目は、全紙器工連に復帰します。全国の同業仲間との意見交換、情報交換を活用し「組合の原点」を浮き彫りにして、これからの時代に向けた組合作りのビジョンを構築していきます。

谷　理事長［東京都紙器工業協同組合］

昭和２４年に組合を発足。当時は組合員数が２００社あったが現在は６０社となっています。事業としては金融、保険、サロンの三つに取り組んでいます。

金融では手形の割引、組合員への貸付等が主体。保険では火災保険、自動車保険、傷害保険に取り組んでいます。サロンは２組合の合同で会議を開き、年間で１０回ほど組合員の交流と情報交換を行っています。

古紙全般の市況について

赤染直納部長［東京都製紙原料協同組合］

市況説明の前に古紙回収の流れ等について資料を元に説明をした。

昨年の震災で製紙メーカー数社の工場が被害にあったが、現在は回復に向かいつつある。被災直後、消費者の家庭紙製品のまとめ買いにより一時的にスーパー等の販売店から商品がなくなった。その際、家庭紙メーカーは製品在庫を持っていたが、震災で輸送手段を断たれ店頭への補充が十分出来なかった。国内の家庭紙メーカーは生産を強化したが、この時期に中国製品を中心に１０％程度の輸入品が日本に入ってきた。その時の製品在

暑　中　御　見　舞

庫がまだ残り、操短をして生産調整しているので、現在は低位でバランスを保っている。

国内の古紙回収は、回収古紙（裾物３品）が８０％で上物（産業古紙）が２０％をしめている。印刷、製本、紙器関係から発生する古紙が年々、減少している。全体的に発生が悪く不景気の影響を大きく受けている。段ボール古紙は昨年１１月に価格修正が行われた。産業古紙は昨年１１月に関西で価格調整があった。今年の２月中旬には家庭紙古紙原料の価格調整が行われた。洋紙、板紙の製品価格修正は実現したが製品は売れない状況である。製品の販売が良くないためメーカーは古紙問屋からの納入量を減らしている。

輸出に関しては、アジア向けの輸出価格が昨年の１０月頃から下がった。ヨーロッパやアメリカ経済の悪化の影響を受け、中国への輸出も減少し輸出価格も下がってきている。

日本の古紙は行政回収や集団回収が盛んで、家庭から分別された状態で古紙が出てきており品質が良い。古紙の発生が少なくなると持ち去り問題が起きてくる。埼玉や千葉等の古紙問屋の密集している場所では、問屋価格も高値で取引されているようである。

紙器関係の市況について

［東京紙器工業組合・東京都紙器工業協同組合］

現在、箱の受注量が減少している。受注は中小メーカーより大手メーカーに持っていかれてしまう。輸出関連が減少し工業製品が減少している。国内では青果物や飲料関係の段ボールは比較的好調だが、電気製品関係は不調である。印刷箱も減少している。ハリ箱の需要は多いが中小メーカーでは少ない。全体的には仕事量が減少している。

その他

・品質関係で禁忌品となる①昇華転写紙（捺染紙、アイロンプリント紙）②感熱性発泡紙③臭いのついた紙、芳香紙（石鹸の個別包装紙、紙製の洗剤容器など）④感熱紙（ファックス用紙、レシートなど）は古紙として使用できない。

・古紙の集荷業者と産廃業者の差別化を図る。古紙の集荷業者は発生先からの難しい要望には出来るだけ応えていきたい。

第５６回清風会ゴルフコンペ

清風会幹事　廣田　圭吾

４月１９日に恒例の清風会コンペが千葉県市原市の森永高滝カントリー倶楽部で行われました。

女子ツアーも行われる名門です。コース幹事になると、難コースを選びたくなる性。皆さんの「難しいねここは」のコメントを聞くのが喜び（笑）難コースほど実力が出るもの。優勝は清水副理事長、準優勝はベスグロで近藤理事長、３位は坂内

さんでした。ハンデ改正されても正直、この上位３人の壁は厚い。けれどもハンデ３１もあって４位止まりの自分の上達の壁はもっと厚い…

青年部 総会開催

青年部幹事長　梨本竜範

去る 4 月 26 日、青年部総会を池袋東明飯店で開催しました。出席者と委任状出席により総会は成立し、

第一号議案　平成 23 年度事業報告承認

第二号議案　平成 23 年度会計決算報告承認

監査報告

第三号議案　平成 24 年度事業計画決定

第四号議案　平成 24 年度収支予算決定

各議案それぞれ承認され、無事総会は終了しました。

その後同会場にて、廣田副部長の司会進行のもと、近藤理事長、田中美絵子衆議院議員にご挨拶をいただき、工藤名誉相談役の乾杯で懇親会が行われました。中華料理を食べながら参加者にそれぞれお言葉をいただいたりしながら盛り上がり廣田副部長の中締めで宴が終わりました。当日は本部より多数の理事役員の方々また田中美絵子代議士にご来賓いただき、誠にありがとうございました。

製本工組の製本二世連合会 30 周年記念パーティー

青年部幹事長　梨本　竜範

去る、4 月 6 日 (金) に製本工組の製本二世連合会 30 周年記念パーティーが文京区の椿山荘にて行われました。当日は 180 人を超す参加者で、当組合青年部からは、坂内部長をはじめ、(株) 清水、(株) 工藤商店、(株) 丸十商店と梨本の 5 名が参加しました。各支部が今後の組合運営についてマニフェストを作って壇上で発表し最後に投票し一番よかったものを決める等、いろいろな楽しい催し物があり、最後にお土産としてお菓子と製本技術を使った記念ノート？を頂き散会となりました。お互い組合員数は減少していますが、両組合これからも今日のように盛り上がっていければ良いなと思いました。

支　部　便　り

第 1 回支部長訪問「山手支部訪問」

城北支部長　辻　忠敏

今年度より各支部会に他の支部長が訪問します。目的は支部間のコミュミケーションを深め支部の活性化に役立てる目的です。

今回は、山手支部に辻　城北支部長が近藤理事長と夏目専務理事と共に訪問しました。

以下は訪問した支部長がアンケート形式で答えた感想です。

訪問日：平成２４年5月１９日（土）
会　場：江戸川橋「鮨やなぎ」
参加人数：７名

① 雰囲気：良かった
② 理事会の報告：あった
③ 協議事項は：なかった
④ 親睦会での話題：古紙市況全般
⑤ 参考になった事：支部の歴史話が聞けた
⑥ 自分の支部で実行したい事：クールビズ
⑦ 同行者の感想：支部間の交流は必要である。仕事関係の話が多く聞けて良かった。
⑧ 今回訪問に参加して：良かった
⑨ この企画を続けた方がいいですか？：どちらとも言えない。
⑩ 今回の訪問で感じた事：出席者の皆さまが長年の付き合いをされていた感じが良くわかりました。
⑪ その他の感想：私のような支部長になりたての者には良い機会でしたが、長年理事をしている方に本当に必要かどうか疑問です。山手支部でも城北支部と同じように次の世代へのバトンタッチが難しいようでした。どの支部も一番の悩みは人材不足では・・。

支部総会開催

台東支部総会

台東支部　坂田　雄司

5 月 14 日(月)午後６時 30 分より東天紅地下「海燕亭」にて総会を開催しました。
今回の出席は残念ながら半数でしたが、平成 23 年度議案審議と会計監査報告の承認が得られまた、平成 24 年度事業計画案決定と無事総会を終了しました。

総会終了後､懇親会に移り短い時間ではあり又、少人数でありましたがコンパニオンも交え、昨年度の労をねぎらうと共に、新年度に向けて支部員一同の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、楽しい時間を過ごしました事を報告させていただきます。

荒川支部総会

荒川支部長　藤井　康夫

平成２４年４月１４日　土曜日・午後６時から上野伊豆栄梅川亭において第６５回東京都製紙原料組合荒川支部の総会を開催しました。

緑あざやかな上野公園で、荒川支部員総数３０名、賛助会員５名のうち本人出席１７名委任状出席１２名で開催。上程された議事は、とどこおりなく進行し６時３０分に閉会。
懇親会となりました。今回も大久保さんから新潟の銘酒景虎、上村さんから日暮里という名の日本酒をちょうだいし、氷で冷やした酒よし、うなぎ

よしの夕食を堪能しました。椅子席を希望した為、会場が３階の桜の間ということで、少し部屋が狭く、コンパニオンさん芸者さんを呼ぶこともなく、静かな宴会となってしまいました。来年の総会は２年に一回の旅行先での開催となる予定ですので、お楽しみは来年に残しておこうと思っております。

荒川支部は支部会など単独で開催する事は難しいと思われるので、６０年以上も続いている毎月１０日に集まる十日会様に便乗させていただき、四丁目町会会館で年に３回ほど合同で、開催させていただいております。

今後も多数の方のご参加をお願い申し上げ総会報告とさせていただきます。

城北 支部総会

城北支部長　辻　忠敏

平成２３年度城北支部総会を、４月１４日(土曜日)に静岡県熱海市の御宿　古家にて執り行いました。本来昨年が熱海での総会年度でしたが、東日本大震災後と言う事もあり中止されたため今年度行いました。当日はあいにくの天気で、東京を出た時は本格的な雨でしたが、熱海は小雨で天気が回復に向かっていました。今回は参加者が７名と少ないものの、過半数の委任状を頂き総会が行われ、議案はすべて承認されました。総会後の宴会では,食べきれないほどの食事が出たものの、美人？酌婦とお酒の勢いに任せて、皆さん満足された様です。宴会後半には、トランプを使ってゲームも行い、普段の支部会では見られない光景もありました。宴会終了後１名帰宅しましたが二次会も行いました。宿泊者６名で、翌早朝１名が帰り、忙しい中出席頂いた方々に感謝申し上げると共に、年々参加者が減少していく中で、今後の支部運営の難しさを実感した総会になりました。

城南 支部総会

城南支部長　坂田　　智

５月１９日に城南支部の２３年度総会を、赤坂の赤坂茶寮というなかなか洒落た割烹で開催しました。このお店は城南支部も初めて使うお店でした。個室になっていて、女性従業員の教育も行き届いていてとても楽しく過ごせました。

来賓には、清水副理事長と大同生命の井上課長に御出席頂きました。２３年度総会は、皆様のご協力により、無事に終了する事が出来ました。

初めに井上課長様に御挨拶を頂き坂田支部長の挨拶のあと乾杯の御発声を清水副理事長にお願いし、宴会がスタートしました。今年は、我が古紙業界も、非常に厳しい状況に追い込まれていますが、なんとかこの苦境を乗り切って行きたいと支部員一同で決意を新たに致しました。

申し遅れましたが、皆川前理事長の御冥福を祈り会の初めに黙とうをさせていただきました。皆川前理事長の組合に対する多大なる功績におらためて敬意を表したいと思います。

たまに会う支部員は､皆さん元気そうでなんだか､うれしくなりました。楽しい時間は、あっと云う間に過ぎて中締めの後散会になりました。

千代田支部総会開催

千代田支部長　近藤　正彦

去る４月９日に千代田支部の平成２４年度支部総会を開催しました。今年も（株）庄司の会議室をお借りしました。

役員改選もなく和気合い合いのうちに終了しました。その後、居酒屋「菜の家」にて支部会を開き上機嫌で解散しました。

山手支部総会

山手支部庶務　徳永　裕司

去る、４月２１日（土）江戸川橋「鮨やなぎ」に於いて山手支部の年次総会を開催いたしました。当日は１３名の出席が有り総会として成立いたしました。私、徳永の司会で始り、脇支部長の挨拶の後、議長に宮崎本部常任理事が選出されました。

宮崎議長の進行により、第１号議案の平成２３年度事業報告の件から第４号議案まで満場一致で可決されました。

今年度は評議員の改選年度でしたので、部の編成を変更することとし、３部制とすることに致しました。また遠方の支部員の方々は庶務預かりとすることと致しました。現在、我が山手支部の組合員は２０社と大分減少してまいりました。どの支部でも同じような問題を抱えていると思いますが、若手をなんとか取り入れて次世代に繋がる支部を新たに作り上げてゆきたいと考えております。総会もつつがなく終了し、酒席となり、出席者皆盛り上がり、様々な話題に花が咲きました。

文京支部総会

文京支部　清水　弘允

文京支部の総会は、理事改選のない年度は旅先で開催するのが恒例である。そこで今年の総会は、４月８日（日）に鬼怒川温泉のホテル三日月にて一泊旅行で開催した。支部員２０名のうち、出席予定の山田支部長が急病で欠席、もう一人が親戚の葬式で急遽の欠席となり、総勢７名参加の総会となった。

三々五々現地集合なので私は浅草駅から東武電車の鈍行でゆっくり鬼怒川に向かったが、日曜日だった事もあり､浅草駅を出て隅田川を渡る時は、川沿いの桜が満開で、花見とスカイツリー見物の賑わいはかなりのものだった。

支部総会は人見副支部長の挨拶で始まり、梨本会計担当の決算報告があり、型通りの進行で承認され無事終了した。

宴会は少人数だったが、ご馳走を頂き酒も堪能し、気心の知れた支部員同士でもあり、コンパニオンを交えて盛り上がった。二次会もホテルの中ではあったが、全員参加で楽しく過ごす事が出来た。温泉だけあって、大浴場だけでなく特徴的な風呂がいろいろあり、それぞれの好みで楽しむ事が出来た。日本人として、温泉で非日常の時間を過ごすのは、やはりいいものだと感じた。

江墨支部総会開催

江墨支部幹事長　木内　茂樹

平成２４年4月２９日（土）～３０日（日）支部会と総会を兼ねて山梨県石和温泉「かげつ」にて参加者１２名で親睦旅行を行いました。

当日は天候にも恵まれ楽しみにしていた旅行という事で、どなたもニコニコ顔で新宿より電車に乗り込み１７時に無事「かげつ」に到着しました。

宴会の前に日頃の疲れを取る為、まずは温泉にゆっくりつかり１９時より、いよいよスタートとなりました。

会計より会計報告があり、松井支部長挨拶となりました。ひき続き石和温泉屈指のお姉様方も加わりカンパイと共に美味しい料理とお酒で大変楽しく有意義なひと時過ごす事ができました。翌日はワイン工場を見学し無事故で帰路に着く事が出来ました。

本年度も江墨支部は松井支部長を中心に毎月の支部会にて親睦を深め団結し業界発展の為に努力してまいりたいと思っております。

組合員紹介

[中央支部]

（有）巽商店　巽（タツミ）　和義（カズヨシ）

役　職　：　取締役
年　齢　：　６０代
血液型　：　A型
体　型　：　小柄
業界歴　：　３５年
何代目　：　３代目
他業界歴：　５年
趣　味　：　映画
好きなスポーツ：　ボクシング、野球
〃　俳　優：　名取　裕子
〃　歌　手：　八代　亜紀
〃　言　葉：　一期一会
〃　食べ物：　刺身、もんじゃ
飲　酒　：　日本酒
タバコ　：　吸わない
その他なんでも
好きな物：　魚
お薦めの店　：　もんじゃきくち（築地２丁目）
〃　場所　：　築地市場
自分の性格　：情にもろい、アバウト

[古紙業界に入って思う事]

気を付けている事：深酒、怪我

♪ことわざミニ知識♪

「四面楚歌」

中国の「史記」に出てくる故事。
漢の劉邦が楚の項羽の城を包囲したとき、深夜になり劉邦が自軍である漢軍に楚の歌を歌わせた。楚の項羽はそれを聞き、楚の民の多くが、もはや漢軍に降参したのかと驚き嘆いた。
この故事から、「助けがなく孤立する事」「周囲がみな敵や反対者ばかりである事」を意味するようになる。
日本の政治でも、しばしば総理や大臣が四面楚歌となり、立ち往生したり、辞任に追い込まれることがある。

支部スケジュール

千代田支部

支部会　7月　6日（金）菜の家
納涼会　8月　＊場所と日時は未定
支部会　9月　5日（水）菜の家

中央支部

支部会　7月13日（金）舟和
支部会　9月　7日（金）もんじゃ「きくち」

文京支部

支部会　7月　9日（月）地球飯店（池袋）
納涼会　8月　8日（水）＊場所未定
支部会　9月10日（月）寿し常本店

台東支部

納涼会　7月中旬　＊場所と日時は未定
支部会　9月中旬　組合会議室

荒川支部

支部会　7月10日（火）東日暮里四丁目会館
納涼会　8月25日（土）屋形船
支部会11月12日（月）東日暮里四丁目会館

足立支部

支部会　7月　7日（土）北千住
ゴルフコンペ　7月19日（木）＊場所未定
納涼会　8月11日（土）屋形船

山手支部

支部会　7月19日(木)　寿司やなぎ
旅行会　9月1日（土）～2日（日）
＊場所未定
支部会　9月19日（火）寿司やなぎ

城南支部

納涼会　8月　　＊場所と日時は未定

江墨支部

納涼会　7月20日（金）竹すし
支部会　9月20日（木）竹すし

城北支部

支部会　　7月13日（金）場所未定
支部会　　9月14日（金）場所未定

お 知 ら せ

［7月会議・催事確認］

7月　1日（日） 組合親睦ゴルフ
「カレドニアン ゴルフクラブ」千葉県山武群横芝光町
7月　3日（火）共販輸出検討委員会
(pm1：30 ～)
〃　常任理事会 （ｐｍ２：00 ～）
〃　理事会 (pm3:30 ～)
上野・東天紅
〃　清風会の講演会（ｐｍ5:00 ～）
〃　清風会納涼会（ｐｍ６：00 ～）
上野・東天紅
7月１１日（水）古紙ﾘｻｲｸﾙｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ更新再試験
講習（ｐｍ６：00 ～）
試験（ｐｍ７：15 ～）
組合会議室
7月１９日（木）古紙センター関東地区委員会
（ｐｍ４：00 ～）
センター　会議室　研修会
（ｐｍ５：30 ～）
7月２２日（日）「故 皆川前理事長を偲ぶ会」
上野・精養軒
午前 11 時 30 分～
7月２４日（火） 製本工組との古紙関係協議会
（ｐｍ４：00 ～）
懇親会（ｐｍ５：30 ～）
製本会館会議室
7月２５日（水）古紙センター業務委員会
（ｐｍ１：30 ～）
〃　全原連役員会（ｐｍ２：40 ～）
＊８月は理事会休会

［古紙価格］

［東資協の古紙 4 品の標準売値］

平成 24 年 5 月 8 日現在

新　聞	9 円～ 11 円 (横ばい)
雑　誌	7 円～　9 円 (横ばい)
段ボール	9 円～ 11 円（横ばい)
色上（並）	7 円～　9 円 (横ばい)

［住所変更及び代表者変更］

江墨支部：（株）墨田リバース「代表者　木内茂樹」 →　平成２４年３月３１日より新住所「墨田区立花５－２３－３　千野倉庫２階」

荒川支部：（株）富　澤　代表取締役社長　瀧本義継　→　新代表　代表取締役社長　冨澤　進一（平成 24 年 6 月 1 日）

［組合員脱退（平成２４年３月末)］

「中央支部」
（株)ビッグスター(代表者　川名敏男)廃業

「文京支部」
皆川商店　(代表者　皆川　昇)事業縮小

「荒川支部」
(有)藤井忠勝商店(代表者　藤井　潔)廃業

「足立支部」
大昭紙業(株)(代表者　漆原　康次)転業

「城南支部」
(有)丸幸紙業(代表者　近藤　幸彦)　廃業
春原商店(代表者　春原芳且)　廃業
(有)片岡(代表者　福田　篤)　廃業

「城北支部」
(有)大健紙業(代表者　大健　稔)事業縮小
(有)田辺紙業(代表者　田辺　武之)経営不振
(有)菊池商店(代表者　菊池　弘昇)廃業
(有)土田商店(代表者　土田　泰三)廃業

＊ランク変更　：　平成２４年度は変更なし

［訃 報］

「城南支部」(株) 坂田紙業 (代表者 坂田秀一郎) のご母堂 坂田志女子様 (享年 96) が平成 24 年 4 月 13 日にご逝去されました。

「城北支部」皆川商事（株） 代表者　皆川　昇 様（享年 71）が平成 24 年 4 月 29 日 (日) にご逝去されました。

会 議 概 要［3月･4月･5月］

３月度定例理事会

［平成２４年３月５日（月)］ｐｍ４：00
出席理事２８名・監事２名　於）組合事務局

近藤理事長挨拶

本日は大変な雨の中、３月度の理事会にご出席いただき有難うございました。先月は残念ながら家庭紙向け、一部洋紙向け古紙が価格調整となってしまいました。大変発生の少ない中、家庭紙メーカーの一方的な事情での結果に失望致しました。発生先への説明文を組合で作成し対応致しました。集荷部の新年会でも申し上げましたが、もっともっと組合が力を持たなければならないと痛感した次第です。本日は、新たに直納部から提案がありますので皆様方のご意見を頂きたいと思います。短い時間ではありますが宜しくお願い致します。

［各部報告］

［総務部］

引続き､組合会館２階の空き室の募集をしている。

［直納部］

３月度の共販輸出は３社が入札に参加しました。入札の結果は､国内価格より１円高い価格で（株）松本光春商店が落札となりました。仕向地は中国で、市況は為替が円安傾向となっているため古紙相場は強め。しかし、ここがピークで、今後の古紙価格は徐々に下がり、その後は為替に若干、左右されるが下がり傾向と推測する。

国内は年が明けて発生が低調である。全般的に国内メーカーの古紙の買い入れ価格は変わらず、荷余り状態となっている。

雑誌はメーカーが納入をカットしてきている。輸出は円安が続いている影響で価格が穏やかに上昇してきている。

［品目別市況］

［家庭紙］ 各家庭紙メーカーは、２月中旬に古紙原料について２円の価格調整をした。古紙の需要バランスから考えると、この価格調整は考えられない。輸出はミックスが高騰しており、国内価格が下がっている分､内外格差がひらいてしまった。

［新聞・雑誌・段ボール］ 新聞、雑誌の原料価格は国内より輸出の方が割高である。段ボールは国内の方が輸出より高くなっており、古紙原料が売りづらい状況である。ミックス等の安い古紙原料が輸出では特に高い。

［返本関係］ 変化はない。出版物の販売が全体的に 7.1％ほど減少している。返本率も落ちてきている。大手製本会社の廃業が出てきている。

［オフィス古紙］ 現在は発生が少ないが３月～４月にはオフィス系古紙の発生も増えてくるのではないかと思われる。

［集荷部］

発生が落ちている。古紙原料価格の調整は集荷にとって大きな負担である。今回の件は、あまり報道に出ていないので、どうしても問題点や疑問が残ってしまう。

［広報部］

広報部は現在、３月号の作成中である。掲載内容は、「時の視点」で、現在、多く発生している禁忌品によるトラブル（感熱性発泡紙、芳香臭）について、脇副部長が古紙センターに取材し記事を

作成した。「時の話題」は組合の合同新年会、ＴＯＭ新年会､各支部開催の新年会を掲載予定。「支部だより」では組合員の紹介。その他に「５年後の古紙業界について」のシンポジウムの記事や全原連のゴルフコンペの記事等を掲載予定である。

［事業部］

これからの組合事業として、自動車共済保険、ガソリンカード、ＥＴＣカードの使用者の増員に力を入れていきたい。又、新たな事業として集荷で多く使う備品等の協同購入ついても検討し、取り入れていきたい。

［青年部］

３月１３日（火）に幹事会を開き長野のリサイクル回収業者の団体との会合について検討をする予定。今まで本組合が精養軒で行っていた総会の日ではない日に青年部の総会を開催する予定である。（４月２６日）

４月６日に製本二世連合会の３０周年に一部の役員が参加予定である。

［近代化推進委員会］

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習試験を１月２６日（木）と２月２１日（火）に実施した。受験者は第１回目６０名、２回目が４６名で合計１０６名であった。都合でどちらにも参加出来なかった方が１５名いた。時間を置き今回、不合格となった方と一緒に試験をする予定である。尚、日時、場所は未定。

需給委員会：３月１６日にＤＩＲの件について話し合う予定。

［その他］

・上物古紙（家庭紙）の国内市場の創設：目的は、今回のようなメーカー主体の原料価格の調整に歯止めをかけるため直納部が中心となり実施したい。入札などの詳細は時間をかけ検討し発表していく。

　挙手の結果、実施の方向で話を進めていく事となった。

・東京都紙器工業協同組合との懇談会を３月２８日（水）に開催。会場は当組合の会議室で行う。参加者は東京協組が１５名、紙器組合が１３～１４名くらいの予定である。

・支部長の他支部訪問について：理事会で訪問支部と訪問者について下記のような日程を決めた。

　５月１９日（土）山手支部会・・・

　訪問者　城北支部　辻支部長と理事長

　６月２０日（水）江墨支部会・・・

　訪問者　中央支部　小森支部長と理事長

直納部委員会

［平成24年3月14日（水）］ｐｍ3：30～

出席委員　19名　於）組合会議室

［家庭紙］

家庭紙は製品の売れ行きが良くないため製品在庫が増えている。全体的に６５％程度の操業のため入荷が落ちている。

家庭紙メーカーは古紙原料に対してタイト感が出ていない。

産業古紙の発生は、1月は停滞ぎみである。オフィス古紙の発生は１２月～１月にかけて、さほど良くなかった。２月～３月にかけては横ばいである。

［各社の動向］

発生は全体的に悪い。

在庫はランニングストック状況か減少している所が多い。

「家庭紙部会に向けて」

① 発生の少なさと在庫の少なさを強調する。

② 家庭紙古紙原料の現状と輸出との格差を説明する。

③ ２月中旬の原料の価格調整について報道がされていない点。

④ 大手製本会社が倒産し、今後、原料の発生が減る点。

⑤ 集荷の現状を伝える。

集直合同委員会

［平成 24 年 3 月 14 日（水)］ ｐｍ 4：30 ～

出席委員 24 名 於）組合会議室

［直納部の現状］

発生は 1 月、2 月、3 月と少ない。在庫はランニングストック状態。

［集荷部の現状］

３月の発生は、あまり変わり映えがしない。むしろ１～２月の方が良かったかもしれない。取引先によりバラツキが出ている。製本関係は３月末まで忙しい状態なので今後、発生が多くなるのではないか。背ノリの仕事は忙しい状態である。仕事は昨年と比較すると多いが、良い時と比較すると少ない。

古紙センター業務委員会

［平成２４年2月２４日（金)］ pm1：30

於）古紙センター会議室

［1］ 平成２３年度第２回通常理事会の報告

［2］ 平成２４年４～９月段ボール・新聞・雑誌消費計画について

［3］ 古紙の需要・市況動向について

＊ページ数の都合で割愛させて頂きます。

全原連第８回役員会

［平成２４年3月１６日（金)］ pm3：30 ～

於）古紙センター会議室

理事・監事６４名：出席６４名（内、委任出席３５名）欠席０名

（1）古紙再生促進センター 関係

●業務委員会（3 月 16 日開催）

①平成 24 年 4 月～ 9 月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

段ボール：

平成 24 年 1 月～ 3 月実績・見直計画

1,754,692 ｔ（前年比 98.7%）

平成 24 年 4 月～ 6 月見直計画

1,899,996 ｔ（前年比 101.3%）

平成 24 年 7 月～ 9 月計画

1,879,681 ｔ（前年比 99.8%）

新 聞：

平成 24 年 1 月～ 3 月実績・見直計画

937,526 ｔ（前年比 100.5%）

平成 24 年 4 月～ 6 月見直計画

903,589 ｔ（前年比 105.7%）

平成 24 年 7 月～ 9 月計画

914,499 ｔ（前年比 103.5%）

雑 誌：

平成 24 年 1 月～ 3 月実績・見直計画

524,669 ｔ（前年比 102.3%）

平成 24 年 4 月～ 6 月見直計画

571,441 ｔ（前年比 95.4%）

平成 24 年 7 月～ 9 月計画

554,415 ｔ（前年比 101.5%）

②平成 23 年度第 2 回通常理事会の報告について

・平成 24 年度事業計画書及び収支予算書（案）

・平成 24 年度収支予算

・中期経営計画に基づく収支改善見通し

・業務執行状況について

③今後の日程について

平成 24 年 4 月 26 日（木）13:30 ～ 14:30

第 1 回業務委員会（センター会議室）

平成 24 年 5 月 22 日（火）14:15 ～ 15:15

第 2 回業務委員会（センター会議室）

（2）経済産業省　関係

①紙リサイクルシステム強化に関する調査委員会報告書について

・平成 24 年 3 月 21 日ホームページに公表予定

②第 3 回経済産業省との懇談会概要について

・日時：平成 24 年 3 月 15 日（木）14:00 ～ 16:10

・概要要旨：

○古紙需給安定化策

○古紙持ち去り問題対策

組合員がしないことを徹底すべきできあること、及び禁止条例の制定状況の把握

○ 3 月 14 日付け日経新聞の記事（日経の記者先走った記事）

（3）全原連　関係

◎審議事項

①「古紙商品化適格事業所」「古紙リサイクルアドバイザー」認定について・・承認

・古紙商品化適格事業所　：3 月 15 日

（3 社 3 事業所）累計（403 社 783 事業所）

・リサイクルアドバイザー：3 月 15 日

（26 社 78 名） 累計（452 社 2,267 名）

②古紙持ち去り問題への対応について

・警察庁と連携して条例違反者に対して所轄警察署が積極的に対処すること

・各自治体に対する罰則付きの古紙持ち去り禁止条例の制定を促進すること

・古紙回収業務従事者の登録制度を創設すること

・古紙商品化適格事業所認定制度に対する優遇策を講じること

③国際古紙会議素案について

・開催主旨：海外古紙市場の動向を把握し、関係諸国との連携強化をめざすこと

古紙近代化推進事業に取り組むとともに全原連「優良性評価事業」の推進を図っていることを周知すること

・会議名：第 1 回国際古紙会議

・テーマ：アジアにおける古紙リサイクルの推進

・時期：平成 27 年秋予定　日程：2 ～ 3 日間

・内容：ウェルカムパーティ、基調講演、分科会、 パネルデスカション、

現場視察（古紙ヤード、製紙工場等）

・準備委員会を平成 25 年 3 月まで継続し、その期間に議論を尽くす

（4）委員会報告

●経営革新委員会（3 月 12 日開催）

◎平成 24 年度事業計画について

・防災推進事業：「作業安全月間」「人身事故防止」「安全診断」「火災予防」

・優良性評価事業の推進：「古紙リサイクルアドバイザー認定」「古紙商品化適格事業所認定」「日本古紙品質認定」

・優良性評価事業 3 事業の広報事業

●需給委員会（3 月 16 日開催）

・議題：「国際古紙会議」について意見交換

●渉外広報委員会

・各委員のメールアドレスの整備及び各組合の HP の充実を図り情報提供を行う

（5）その他

●第 5 回古紙持ち去り問題意見交換会

（3 月 9 日開催）

・関東商組では持ち去り禁止ポスターの掲出、持ち去り行為をしないことの宣言、

適格事業所認定の扱い等、速やかに改善するよう申し入れた。

・古紙持ち去り根絶宣言車識別制度について意見交換（ステッカーの検討）

古紙センター関東地区委員会

［平成２４年3月２６日（月)］ｐｍ２：００～
於）古紙センター会議室

［需要動向］ 12／２月　単位トン、
（　）は対前年同月比、在庫の（　）は在庫率

［関東商組 32 社実績］

[新　聞]	仕入	63,352(102.5%)
	出荷	64,013(101.4%)
	在庫	10,931(17.1%)
[雑　誌]	仕入	45,753(100.8%)
	出荷	48,784(104.0%)
	在庫	8,248(16.9%)
[段ボール]	仕入	113,425(102.0%)
	出荷	119,031(105.7%)
	在庫	16,643(14.0%)

[関東・静岡実績]

[新　聞]	入荷	186,377(98.1%)
	消費	193,987(92.0%)
	在庫	173,400(89.4%)
[雑　誌]	入荷	96,697(97.6%)
	消費	106,456(99.6%)
	在庫	59,371(55.8%)
[段ボール]	入荷	262,051(108.8%)
	消費	257,040(98.9%)
	在庫	149,583(58.2%)

［業者側コメント］

［新聞・雑誌・段ボール］

新聞の２月の発生は前月と比べて変化がない。ページ数は堅調だがチラシが前年比で落ちている。在庫はランニングストック状態。３月の発生は段ボール、新聞が増加し雑誌が大きく増加すると思われる。

輸出は中国が製品市況が弱く回復の兆しが見えないため様子見状態である。

［上物古紙］

産業古紙の発生は良くない。印刷、製本業界が不況のため縮小してきている。家庭紙も製品市況が良くない。購入者も品質よりも安ければいい方向に動いている。家庭紙原料は各メーカーで余剰ぎみである。２月末の在庫は家庭紙向けが前月比104.6%、ＤＩＰ向けは前月比で 111.4%である。

［メーカー側コメント］

新聞は２～３月と変わりがない。入荷は堅調で製品が弱い。減産基調が続いており、昨年からの在庫積み増し分を消化しながら使っている。原料古紙全体では発注は低調。３月に発生が増える所だが生産が上がらないので３月末で各社とも高い在庫で推移している。

４月度定例理事会

［平成２４年４月９日（火)］　ｐｍ４：00
出席理事２０名・監事１名　於）　組合事務局

近藤理事長挨拶

先月は紙器組合と大変実りある第１回目の会合を開催出来ました。今後も毎年開催できればと考えています。昨年の今頃は震災の後で自粛した為にあらゆるイベントが中止となり、又、放射能の影響で古紙輸出がストップという混乱の最中にありました。今年は各地のイベントも通常通り開催され、まもなくスカイツリーも開業ということで紙の消費も昨年に比べれば大きな違いがあるのではと期待しております。来月は総会も控えており引続きご協力の程、よろしくお願いします。

［各部報告］

［総務部］

総会の詳細について準備中である。

今後の理事会予定：６月４日（月)、７月３日（火)、９月４日（火）１０月３日（水)、１１月５日（月)、１２月４日（火）

[直納部]

４月度の共販輸出は３社が入札に参加しました。入札の結果は、国内価格より若干、低い価格で（株）ジェーオーピーが落札となりました。仕向地は韓国、フィリピン。市況の冷え込みは相変わらずで、徐々に引合いも増えつつありますが前月とほぼ状況は同じです。一方、仕向地が中国の市況は、為替は円安傾向となっていて円での古紙相場は上昇気味。しかし、今後の古紙相場は徐々に下がり、しばらくは為替に若干、左右されながら下がり傾向と推測される。

[品目別市況]

[段ボール、新聞、雑誌]　段原紙の価格修正により板紙ライナーの在庫は適正在庫を上回っている。板紙メーカーは３月、４月と生産調整に入っている。

日経新聞の２月の掲載記事の間違いにより関東商組では在庫がだいぶ増えてしまった。それに伴い輸出価格が下がっている。中国輸出の裾物３品の価格は下降し国内の在庫は増加している。輸出は５月頃までは厳しい状態が続くと思われる。新聞、雑紙ともしばらくは弱めの状況が続くのではないかと思われる。

[家庭紙]　３月は製本所が忙しく回収が間に合わないくらい発生が多かったが、４月に入りガラッと減少してしまった。

その他：　先日の静岡県紙業協会家庭紙部会の後、高尾製紙より特更部会の会合について話が出た。特更メーカーは、特切りの価格調整を考えており、今後、会合に向けて話を進めていきたい。

[集荷部]

古紙原料価格の調整が集荷にとって悪影響している。４月に入って集荷量が大きく減少している。

[広報部]

広報誌の発行は年間５回となる。総会号（６月号）は総会の内容を中心に掲載して６月下旬に送付する予定である。

総会資料の事業報告書と事業計画書（案）を広報部を中心に作成中である。特に事業計画の中で確認事項があるので意見を頂きたい。

[事業部]

組合事業の一つである損害保険について直接活用できる新たな保険として　①取引先で借りたフォークリフトでの事故　②機密文書の情報漏えい　③圧縮梱包された古紙の火災の際の片付け費用　以上の３点について対応出来る保険ができないか検討中である。

ガソリンカードを現在使用されていて、出資金を出している人に配当が有る事を説明。過去に２回あり２３年度も配当の予定がある。

[青年部]

４月１６日（月）に長野のリサイクル回収業者団体の青年部と会合をする。

４月２６日（木）に池袋「東明大飯店」で青年部の総会を開催する。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習試験を１月と２月に実施したが４月に試験結果の報告がある。都合でどちらにも参加出来なかった人と追試は７月末までに各単組で実施する。

[審議事項]

1. 平成２３年度組合員脱退者

（下記の６社を含む全11社）

・城南支部：

（有）片岡（代表者　福田　篤）

廃業　平成２４年３月３１日付

・城北支部：

（有）大健（代表者　大健　稔）

事業縮小　平成２４年３月３１日付

（有）田辺紙業（代表者　田辺　武之）

経営不振　平成２４年３月３１日付

（有）菊池商店（代表者　菊池　弘昇）
倒産　平成２４年３月３１日付
（有）土田商店（代表者　土田　泰三）
廃業　平成２４年３月３１日付
・文京支部：
皆川商店　（代表者　皆川　昇）
事業縮小　平成２４年３月３１日付

2. 平成２４年度賦課金ランク変更：
平成２４年度は変更なし
原案どおり可決

3. 平成２３年度事業報告と平成２４年度事業計画（案）についての確認。

［その他］

・東京紙器工業組合と東京都紙器工業協同組合の理事長を総会の来賓として招待する。
・特更工業組合との懇談会を開催する。
・組合員の新規加入の内規について。

古紙センター関東地区委員会

［平成２４年4月１９日（木）］ｐｍ２：００～
於）古紙センター会議室

［需要動向］ 12／３月　　単位トン、
（　）は対前年同月比、在庫の（　）は在庫率

［関東商組 32 社実績］

［新　聞］	仕入	70,860(110.8%)
	出荷	67,266(107.0%)
	在庫	14,525(21.6%)
［雑　誌］	仕入	62,241(102.4%)
	出荷	57,464(110.2%)
	在庫	13,025(22.7%)
［段ボール］	仕入	126,473(101.5%)
	出荷	124,764(101.0%)
	在庫	18,352(14.7%)

［関東・静岡実績］

［新　聞］	入荷	194,992(96.1%)
	消費	213,988(105.1%)
	在庫	154,404(72.2%)
［雑　誌］	入荷	110,977(94.2%)
	消費	112,682(108.1%)
	在庫	57,666(51.2%)
［段ボール］	入荷	284,097(97.5%)
	消費	283,222(95.8%)
	在庫	150,458(53.1%)

［業者側コメント］

［新聞・雑誌・段ボール］
新聞の発生は、あまり変わらない。在庫量は前年比で若干、増えている。ページ数は読売と朝日が前月比で大きく増加しているがチラシは減少している。１～２月の中国への輸出量は米国、ＥＵと増加しているが、日本だけが減少している。
［上物古紙］
産業古紙の発生は良くないが、家庭紙メーカーの消費量も増えない。輸出量も増えていなく家庭紙メーカーは横ばいで推移している。

［メーカー側コメント］

新聞古紙のメーカーの入荷は順調で、メーカーによっては在庫を見ながら納入を調整している所もある。発生、入荷とも問題なし。
雑誌古紙の発生、入荷は順調。在庫も３～４月と問題なし。
段ボールの生産は、青果物は仮需の影響で増加し、飲料関係も新しい製品が増え前年より増加した。しかし、電気、家電関係は前年比でマイナスしている。段ボール古紙は、４月は３月と比べ仮需の反動で良くない。発注量は抑え気味で在庫は各社高いレベルで持っている。

古紙センター業務委員会

［平成２４年４月２６日（木)］ pm1：30～
於）古紙センター会議室
［1］平成２３年度古紙回収推進事業報告について
［2］平成２４年度古紙回収推進事業について
［3］集団回収実施団体への感謝状交付について
（九州地区委員会推薦）
［4］ 古紙の需要・市況動向について
＊ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連第８回役員会

［平成２４年４月２６日（木)］ pm3：00～
於）古紙センター会議室
理事・監事６４名：出席６４名
（内、委任出席３１名）欠席０名

（1）古紙再生促進センター　関係

●業務委員会（4月26日開催）
◎平成23年度古紙回収推進事業報告について
・結果報告：予算96,304,200円、
実績95,007,051円（内、本部38,947,284円）
◎平成24年度古紙回収推進事業計画について
・予算：135,198,000円
（内、本部55,288,000円）
・古紙回収推進事業について24年度失効になるので継続事業については今後スポンサーを募ること（例えばメーカーの支援等）
◎集団回収実施団体への感謝状交付について
・推薦地区委員会:九州地区委員会（5団体推薦）
◎今後の日程について
平成24年5月22日（火）14:15～15:15
業務委員会（センター会議室）
平成24年6月6日（水）14:15～15:15
業務委員会（センター会議室）
平成24年7月25日（水）13:30～14:30
業務委員会（センター会議室）

（2）業界　関係

◎リサイクルシステム議員懇談会甘利会長との懇談会について
日時：平成24年4月2日（月）18:00～20:40
場所：浅草ビューホテル
出席：日本製紙連合会、古紙再生促進センター、日資連、全原連
議題：紙リサイクルシステム強化調査委員会、容器包装リサイクル法の改正、
今夏の電力需給見通し等について
製紙工場、古紙ヤード見学（甘利会長）
◎リサイクルシステム議員懇談会について
日時：平成24年4月25日（水）16:00～17:00
場所：衆議院第1議員会館第3会議室
出席：甘利会長、大畠幹事長、中山議員、小山議員
経済産業省、環境省、全原連、関東商組、日資連
議題：使用済小型電子機器等の再資源化促進の関する法律(小型電子機器リサイクル法)案について意見交換
◎経済産業省との懇談会について
日時：平成24年4月26日（木）11:00～
場所：古紙再生促進センター会議室
出席：経済産業省、全原連
議題：古紙持ち去り問題
・古紙持ち去り問題について経済産業省より全原連として規則、罰則等を設け、古紙持ち去り行為の撲滅に対し、直ちに今回の総会の決議案に上程するよう要請がありました

（3）全原連　関係

◎審議事項
①「日本古紙品質認定制度（J―BRAND）運用明細について
・運用明細は理事会配布資料参考

・運用開始について段ボールは 2012 年度中にスタート予定、新聞は持ち去り問題の解決及び進展状況を鑑み、開始時期を延期する

②第 35 回通常総会について

・日時：平成 24 年 5 月 24 日（木）15:30 ～
場所：松山全日空ホテル、
当番：四国製紙原料商工組合

・第 35 期、36 期役員候補者推薦

・第 35 期事業報告及び決算書類

・第 36 期事業計画（案）及び予算（案）

③次期役員候補者（理事・監事）案について

・北海道商組（3）、東北協組（2）、
新潟ブロック（1）、北陸ブロック（1）、
関東商組（１８）、東京都協組（4）、
神奈川県協組（1）、長野県商組（1）、
静岡県商組（3）、中部商組（6）、
近畿商組（8）、中国地区商組（6）、
四国商組（4）、九州商組（4）
合計：理事 62 名、監事 2 名

④「古紙商品化適格事業所」申請認定について

・古紙商品化適格事業所：4 月 15 日（3 社、5 事業所）累計（403 社、788 事業所）

（4）各委員会報告

●経営革新委員会

①リサイクルアドバイザー講習・試験

・試験の合否及び認定カード、合格認定書作成（事務局）

・5 月連休明けより各単組へ返送予定

②安全防災委員会

・「ヒヤリ・ハット」ＨＰ掲載（各社従業員持参の安全手帳の確認）

●需給委員会

・2012 年需給予測、国際会議準備委員会

●渉外広報委員会

・各委員のメールアドレスの確認及び情報交換

（5）その他

●第 35 回通常総会及び近代化推進事業各委員会開催の件

日　時：平成 24 年 5 月 24 日（木）
各委員会：14：00 ～ 15：00
（尚、需給委員会 13:30 ～ 15:00）
総　会：15：30 ～ 17：00
懇親会：18：00 ～ 20：00
場　所：松山全日空ホテル

5 月度定例理事会

［平成２４年５月２日（水)］　ｐｍ４：00
出席理事２２名・監事１名　　於）組合事務局

近藤理事長挨拶

ここのところ、京都での車の暴走事故、集団登校の子供に車がぶつかる事故、又、居眠り運転による夜行バスの事故など大変痛ましい事故が続いております。今一度、我々も他人事ではなく会社の安全管理、防災対策に注意を払う必要があると思います。早いもので今月は総会となります。今年は役員改選期ではありませんが、色々と準備を進めているところです。

景気も依然として良くない中で、組合として取り組むべき課題を検討していきたいと思います。本日も宜しくお願い致します。

［各部報告］

［総務部］

総会について準備中である。協議事項で担当者、来賓挨拶等の詳細について確認する。

［直納部］

５月度の共販輸出は２社が入札に参加しました。入札の結果は、国内価格より低い価格で（株）ジェーオーピーが落札となりました。仕向地は韓国、フィリピン、中国。市況の冷え込みは相変わらずで、古紙の引合いもここにきて弱くなってき

ているとの事。輸出市況は３月半ばから冷え込んでいる状態である。

［品目別市況］

［段ボール、新聞、雑誌］ 段原紙の価格修正により板紙ライナーの在庫は適正在庫を上回っている。板紙メーカーは３月、４月と生産調整に入っている。

日経新聞の２月の掲載記事の間違いにより関東商組では在庫がだいぶ増えてしまった。それに伴い輸出価格が下がっている。中国輸出の裾物３品の価格は下降し国内の在庫は増加している。輸出は５月頃までは厳しい状態が続くと思われる。新聞、雑誌ともしばらくは弱めの状況が続くのではないかと思われる。

［家庭紙］ 家庭紙メーカーへの古紙原料は潤沢に入っている。輸出は低迷し、家庭紙メーカーの原料在庫の比率も高い。製品の価格修正は期待しにくく、原料の価格調整も変化がないと思われる。

［段ボール］ 製品値上げの影響で国内販売がダウンし厳しい状況である。中国の製品市況も良くなく輸出価格も下降してきている。

［台紙］ 変化なし

［オフィス古紙］ ３月、４月は機密関係の発生が多かったが、５月に入り落ちてきている。

［集荷部］

このままの状態が続くと、家庭紙などの製品価格が下がってしまうのではないかと心配している。製品や古紙の循環が悪いと原料価格にも悪影響になるのでは。

［広報部］

広報部は４月末に総会号（６月号）の打ち合せをした。発送は６月末を予定しており、記事は、総会と支部総会を中心とした内容になる。今年から７月号がなくなり６月号と合併となるので暑中広告も６月号に掲載する。支部会スケジュール等を含めた原稿を６月上旬までに提出してほしい。

［事業部］

引続き組合事業の一つでもある自動車共済保険の加入に力を入れていきたい。

［青年部］

４月２６日（木）に池袋「東明大飯店」で青年部の総会を開催した。田中美絵子議員と本部から理事長以下６名の理事を来賓として迎え賑やかな総会となった。４月１６日は長野の資源組合青年部会に出席予定。５月１２日は印青連の総会に参加予定である。

［近代化推進委員会］

５月２４日の全原連総会前に各委員会を開催する。

［審議事項］

1. 平成２３年度決算報告及び平成２４年度（案）の総会上程について。
   原案どおり可決

［その他］

・被災地応援ツアーの実施　６月２４日（日）～２５日（月）気仙沼､石巻（工場見学含む）
・組合ゴルフコンペ開催　　７月１日（日）
　製本工組と紙器組合を招待する。

古紙センター業務委員会

［平成２４年５月２２日（火）］ pm1：30～
於）古紙センター会議室

［1］ 集団回収実施団体への感謝状交付について
（北海道・近畿地区委員会推薦）

［2］ 古紙の需要・市況動向について

＊ページ数の関係で割愛させていただきます。

古紙センター関東地区委員会

［平成２４年5月２３日（水)］ｐｍ２：００～
於）古紙センター会議室

［需要動向］ 12／4月　　単位トン、
（　）は対前年同月比、在庫の（　）は在庫率

［関東商組 32 社実績］

［新　聞］	仕入	68,069(107.3%)
	出荷	69,770(108.7%)
	在庫	12,824(18.4%)
［雑　誌］	仕入	60,697(91.1%)
	出荷	60,490(87.5%)
	在庫	13,232(21.9%)
［段ボール］	仕入	127,005(100.3%)
	出荷	127,873(100.5%)
	在庫	17,484(13.7%)

［関東・静岡実績］

［新　聞］	入荷	205,522(93.9%)
	消費	186,271(96.7%)
	在庫	172,812(92.8%)
［雑　誌］	入荷	119,521(92.3%)
	消費	109,880(92.2%)
	在庫	66,344(60.4%)
［段ボール］	入荷	292,322(89.5%)
	消費	295,257(97.3%)
	在庫	147,523(50.0%)

［業者側コメント］

［新聞・雑誌・段ボール］

［上物古紙］

［メーカー側コメント］

各コメントは控えさしていただきます。

編 集 後 記

広報部長　清水　弘允

第５６回通常総会および第５０回永年勤続従業員表彰式は、多数のご来賓の出席のもと、盛大に終了する事が出来ました。準備に関わった理事、支部員、青年部の皆さんには本当に有難うございました。

事業計画と事業予算が承認され、今後は各業務部で、それぞれの事業活動を始めますが、今年は従来の延長で考えてはいけないような気がします。なぜなら組合そのものの存在意義が問われる時期になっていると思うからです。

組合員数が毎年減っています。今年度の組合員数はスタート時点で、いよいよ２００社となりました。どんな活動でもお金が掛りますから、組合員が３００社であった頃とは基本的に発想を変えないと､資金的にも組合が立ちいかなくなります。今年度の事業計画には､「組合は組合員に何をすべきであり、組合員は組合に結集する事で何が出来るか、原点に立って考える時である｡」と書いてあります。

事業計画として承認を受けた事を、各業務部が従来の延長として、淡々とこなすだけではなく、いかに多くの組合員を巻き込んで、どのような参加型の組合活動に出来るかが問われるでしょう。それは遊びの場でもあるでしょうし、勉強の場でもあるでしょう。支部会や本部行事を魅力あるものにして、いかに多くの組合員を動員するか、その為の声掛けなど、思いついたアイデアはどんどん実行したいものです。

古紙業と言っても、その業態は一つではありません。集荷業と言ってもいろいろあります。古紙の発生先も多様です。組合をいい意味でどう利用して行くか、組合員一人一人の立場で考えたいものです。